

した。国語の話すこと・聞くこと、書くことの思考力に関する事項で全国値を上回り、学習の成果が表れているところも見受けられます。

□前期課程、後期課程ともに、地域や社会に対する意識の高まりが見られ、全国値を上回っています。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を基盤としたふるさとキャリア教育に関する取り組みの成果が伺えます。

## 課題のみられる部分

### 読むこと・表現すること

各教科とも、多くの情報から必要な情報を読み取ったり、取り出したりして考察する問題が話題されています。表現の効果を考えたり読み取る問題、示された解答方法を自分の言葉を使っている確に表現する問題、実験の結果を自分の考えを交えながら表現する問題など、読み取る力と同時に表現する力が求められます。

この力は「書くこと（書く能力）」にも大きく関わってきます。指導者が、日々の授業の中で、学習指導要領の各領域における育成

すべき力を関連付けながら、工夫した学習活動や授業展開を意識することでこれらの力の育成につながります。

### 話すこと

英語では、リスニングで内容を聞き取ったり、聞き取った内容を自分の生活と比べて表現したりすることに課題がありました。スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表することが、表現したり聞き取ったりする英語の力を伸ばすことにつながります。授業中に聞いたり話したりする言語活動を、計画的・継続的に取り入れた授業づくりが必要です。

また、英語によるコミュニケーション能力および英語学習への意欲を向上させるために、外国語指導助手（ALT）の支援も得ながら、All Englishでの授業を展開していく必要があります。

## より一層の推進

### 興味関心が生きる授業づくり

前期課程では、全ての教



科でその必要性や重要性など、教科に関する興味関心は高い結果でした。また、後期課程では、教科によっては肯定的回答が低い教科もありましたが、全体的には教科に対する興味関心が高い傾向にある状況です。前期課程・後期課程とも、どの教科も「大切」との認識があり、高い数値を示しています。

一方、「学習理解」への意識では、後期課程で国語と英語について全国値より低い値となりました。しかし、正答率をみると国語は75%を示しており、決して理解できていないというわけではありませんでした。

「理解ができていない」という回答につながっていると考えられます。「分かった、できた」という自信がもてる授業づくりをしていく必要があります。

苦手意識・自信のなさから「理解ができていない」という回答につながっていると考えられます。「分かった、できた」という自信がもてる授業づくりをしていく必要があります。

### ふるさとキャリア教育

地域や社会への関心に関する質問項目では、前期課程、後期課程ともにほとんどの質問項目で全国値を上回っています。特に、「地域や社会をよくするために何かしたい」という質問では、前期課程・後期課程とも肯定的な回答が多くみられました。

特に後期課程では、肯定的な回答が全国値より14ポ

イントも高く、地域に目を向けている生徒が多いことが分かりました。これは、これまで学習してきたふるさとキャリア教育の成果です。「日野町には素敵な人や物があり、それらを大切にしたい。それらから学びたい」という気持ちだが、「地域や社会をよくするために何かしたい」という意識につながっていると考えられます。

## 今後の取り組み

■児童生徒の学習に対する興味や関心を引き出し、「できた」「分かった」「もっと知りたい」につながる授業づくりをめざします。

■自分の考えや思いを整理して的確に表現したり、友達の意見と自分の意見を比較しながら聞いたりすることで、知識はより確かなものになります。自分の考えと友達の考えを比べ合う時間の確保や、各教科でつけた力をさまざまな場面で活用するような展開の工夫を図ります。

■「めあて―まとめ・ふりかえり」という課題設定から解決、評価までを児童生



徒自身で行っていきけるよう  
な、児童生徒が主体となる  
授業づくりを進めます。

■必要な情報を取捨選択  
し、効果的に活用するとと  
もに、自分の考えを的確に  
表現できるような機会を設  
定します。

■タブレット端末をはじ  
め、ICT機器を効果的に  
活用し、一人一人に最適な  
授業づくりや家庭学習を進  
めます。同時に、情報リテ  
ラシー、情報モラルについ  
ての指導を充実します。

■全国学力・学習状況調査  
のみならず、他調査や日々  
の学習状況の分析等を通し  
て、児童生徒個々の状況を  
把握し、より一層の児童生

徒の理解や学力の定着を  
めざします。

■「家庭教育・家庭学習の  
手引き」の活用等により、  
家庭学習の習慣化を図ると  
ともに、学習習慣の定着に  
つなげる授業改善等を進め  
ます。

■コミュニティ・スクール  
と地域学校協働活動の一体  
の実施により、「地域とと  
もにある学校づくり」「学  
校を核とした地域づくり」  
の一層の推進を図ります。

■郡内他校や日野高校、公  
立鳥取環境大学や島根大学  
等との連携により、児童生  
徒の交流の幅を広げ、多様  
な考えに触れる機会の充実  
に努めます。

## 地域の子どもは地域で見守り育てよう

### ～「冬休みの生活について」日野町青少年育成会からのお願い～

もうすぐ冬休みです。お年玉をもらい、子どもたちがお金を使う機会も増え、日常とは違う解放感が広がります。子どもたちを安全に健やかに育てるため、地域の皆さん自らあいさつをしたり、手本になる行動を示したりして、どの子も我が子と同じように接し、地域で見守り育てましょう！

#### 【町内の学校の冬休み期間】

・日野学園 12月26日（火）～1月8日（月） ・日野高校 12月22日（金）～1月8日（月）

#### ■『凡事徹底』

「あいさつをする」「返事をする」「履き物をそろえる」…どこでも当たり前のことを徹底しましょう。

#### ■『家庭で育む「生きる力」』

家族のきずなを深めましょう…温かい言葉で心が元気！

早寝・早起き・朝ごはん…規則正しい生活で体が元気！

#### ■『いつでも、どこでも地域の子どもに目を』

・「褒める」と「叱る」を上手に使いましょう ・地域の子どもは地域で育てましょう

・ルール違反に見て見ぬ振りをせず、迷わず注意をしてください

#### ■毎月第3日曜日は「家庭の日」

温かい雰囲気の中で、家族の対話を図りましょう。

～青少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば子どもも変わる」県民運動実施中！～

あの子もこの子も地域の宝 ひと声かけて育てよう